



## 今年度の方向性 六本木会長語る

総会開催

4/11 市役所講堂

# 3つの交流を通して



総会で挨拶する  
六本木会長

昨年度、パサデナ市との姉妹都市提携から 60 周年を盛大に祝し、絆は深まりました。そのうえで、今年度の果たす役割は大きなものがあると考えます。太く、より強固に結ばれた絆をさらに発展させていきましょう。

今年度は以下の方針に沿って、より活発で有意義な活動を展開してまいります。詳しくは、P6「会員同士の交流を進めよう」をご覧ください。

### ① パサデナ市との交流

青少年（中高生）訪問団の派遣、中学生オンライン交流会、姉妹校作品交流

### ② 会員同士の交流

「市民の日」への参加、情報誌『Howdy』の発行、国際交流フェスティバルへの参加

### ③ 他団体との交流

60 周年記念事業で協力していただいた諸団体との情報交換会の開催

## 新理事



趣味はアメリカン

カントリーダンス。ダンシングテキサスというグループでレッスンを受けています。テキサス州にはもともと興味があったので、秦野パサデナ友好協会の存在を知った時、すぐに入会しました。入会してまだ 1 年ちょっとですが、これからパサデナ市と秦野市の交流促進に積極的に携わり、友好を深めていきたいと思っています。そして、カントリーダンスの本場、テキサス州にいつか行ってみたいです！どうぞ、よろしく願いいたします。

(阿部和子理事)



## 今年度理事 3 人が新たに就任、抱負聴く



10 年前の姉妹都市交流 50 周年記念式典に秦野市議会副議長として歓迎のご挨拶をし、訪問団の方々と記念植樹や歓迎会等で交流を深め、その時の新たな友情をきっかけに入会しました。訪問団の相互派遣、本町小、西小や渋沢中の姉妹校交流など、言葉や習慣の違いを越えた交流は、秦野市の子どもたちの大きな体験になっています。今後も様々な分野の交流を通じて、国際交流・相互理解・恒久平和など次世代に繋がる活動を共に行ってまいりたいと思います。

(神倉寛明理事)

昨年 1 月のパサデナ市訪問では、異文化に戸惑いながらも自ら行動する大切さを学びました。温かく迎えてくれたホストファミリーへの感謝を胸に、6 月の訪問団受け入れでは思い出を多く残してもらえるよう努めました。

私も多くを学び、互いにとって実りある経験となりました。今後も新理事として、この貴重な経験を生かしてがんばってまいります。

(伊井美織理事)

カーネギーホールで演奏する  
スタスさん(中央)

バイヤンが繋ぐ新たな友好の道 スタスさん拓く

# 丹沢山麓 バヤンの調べ響く

世界をフィールドに大活躍のバイヤン奏者スタスさんと当協会の縁は昨年60周年記念演奏会を機に新たな繋がりに発展しています。記念演奏会の構想は、2020年秦野市の訪問団派遣の際に団長(故)相原啓子さんのホームステイ先の近隣に住む秦さんとの出会いが発端。当時、NASAの研究者であった秦さんは職場の改装工事で休暇中。訪問団の通訳を引き受けることに。また、スタスさんに師事するアコーディオン奏者でもあり、秦野市出身の山田和樹さんの話題から音楽で国際交流の話に発展。まず、スタスさんは2023年来日の際、秦野曾屋高校で特別音楽授業をされました。誠に不思議な縁が秦野市にスタスさんのバイヤンを運んで来てくれました。日本ツアーのたびに秦野市でも演奏会を開き、バイヤンの魅力を伝えておられます。

## 4/16 秦野市主催 宮永岳彦記念美術館演奏会



宮永岳彦記念美術館でスタスさんのバイヤン演奏会が行われました。宮永岳彦画伯の秀作に囲まれ、高橋市長ほか50余名の観客を前に、バイヤン1台で世界を駆け巡る12曲を披露。『ラ・カンパネラ』『パリの空の下』などはヨーロッパのとある街で聴いているかのよう。米国でヒットしたスタスさん作曲の『Summer Sunshine』や名曲『荒城の月』と素晴らしいプログラム構成。スタスさんの卓越した演奏、アコーディオンから開発された珍しい楽器のバイヤンから奏でられる豊かな音色、幅広い表現に観客は驚き、酔いしれ、別世界を堪能しました。  
**(観客の感想)** バヤンを聴くのは初めてなので楽しみでした。演奏が始まると小さな楽器がパイプオルガンを思わせる迫力! かと思うと曲により音の表情が変化するバイヤン。スタスさんの素晴らしい演奏に魅了されたひと時でした。(関万里子さん)

バイヤンを見るのも聞くのも初めて。「楽器なの?」「何が始まるんだろう?」ワクワクする子どもたち。『ドラえもん』『アンパンマンのマーチ』の曲が流れると、自然と笑顔が溢れ一緒に歌ってバイヤンに親しみました。トルコ行進曲やロシア民謡などでは曲に合わせて体を揺らしたり、心地よい音楽に眠ってしまう1歳児の姿も見られました。最後に園歌『ひまわりのこどものうた』をバイヤン伴奏で合唱しました。スタスさんの素敵な時間に園児も保護者も癒されるひと時となりました。(高橋優一郎さん)

## 4/16 ひまわり保育園訪問



## 9/19 情報交換会開催 市役所西庁舎

昨年6月の姉妹都市交流60周年記念事業を遂行するにあたり、おもてなしをどう進めるか、スケジュールを立てるうえで、協会員だけでは到底賅い切れないことが判明しました。市内で様々な活動をする20団体に呼びかけ、ホスト受け入れ依頼、日本文化体験提供、レクレーション提供、演奏共演など多大なご協力をいただきました。

この事業を契機に、各団体が活動する情報を交換し合える、継続した団体間交流の場の構築が重要と考え、今回の情報交換会が開催されました。六本木会長の設立趣旨説明後の各団体代表者との懇談では、他団体と連携して活動をしていく必要性が語られ、新たな情報が得られました。今後の開催が、各団体の活路をより広げる出発点となることを確信しました。

## 4/17 ひまわりの里訪問



バイヤンの音色が響くと一瞬で観客は聞き入り、また、知っている曲が流れると手拍子を打つ場面も。最後には『さくら』を皆で大合唱するなど、音楽を通じてそこに居る人たちが一つになり幕を閉じました。スタスさんの人柄でしょう。言葉が通じなくてもその場が一つになった貴重な時を過ごすことができました。(宇佐美高明さん)

## 4/19 Noriko & Stas スプリングコンサート



スタスさんは秦野市出身のマリンバ奏者・木次谷紀子さんと昨年の記念コンサートで共演以来、オンラインで調整し「Noriko & Stas」の演奏会を日本各地や米国ミネソタ大学などで開催。この演奏会もその一環でロシア民謡、『ユーモレスク』『荒城の月』など有名な14曲がスタスさんの編曲で、木次谷さんのマリンバと共演。スタスさんは「弘法の里湯」で知り合った人と意気投合、客席のその男性に1曲を捧げられたサプライズもあり、素敵な公演となりました。  
**(観客の感想)** スタスさんの奏でるバイヤンの音色、それはオーケストラのように重厚感があり、けれども清々しく、時には踊りたくなるように軽やかで、マリンバの多様な響きと相まって、気づいたら2人の世界に引き込まれていました。(高橋文世さん)

『水無川』の動画とスタスさんの全文の要訳は秦野パサデナ友好協会のHPをご覧ください。



## スタスさん、秦野への想い新曲「水無川」に

**Visit Hadano City** In April of this year, I visited the city of Hadano, Japan, where I had the opportunity to perform for the Japanese public. On April 19, the concert took place at the Town news hall with the wonderful musician Noriko Kijiya (Marimba). All these performances left me with an indelible impression of the amazing audience of different ages who enthusiastically received the sounds of the accordion. In this wonderful town, I saw and visited remarkable historical places, one of which was the Mizunashi River, the River without Water. This was my third visit to Japan in the last three years. During this time, I met many friendly and warm-hearted people.

**(スタスさん)** 今年4月、私は秦野市を訪れ、皆さんの前で演奏する機会を得ました。またタウンニュースホールで、素晴らしいマリンバ奏者、木次谷紀子さんをお迎えしてコンサートを行いました。これらの公演を通して、様々な年齢層の素晴らしい観客がアコーディオンの音色に熱心に耳を傾けていたことが、忘れられない印象として残っています。この素晴らしい町では、水無川をはじめ歴史的な名所を訪れました。過去3年間で3度目の日本訪問となりました。この間、多くの親切で心温かい方々に出会いました。

**(秦恵さん)** 桜には少し遅いかと心配していたのですが、今年は桜の開花が遅れたのか、私たちが秦野市を訪れた時、桜が満開で幸運でした。1週間の滞在中、水無川や尾尻公園等の散歩、また万葉の湯温泉を楽しみ、素敵な時間を過ごすことができました。また秦野パサデナ友好協会の皆様との再会は素晴らしいものでした。

## スタスさん 新曲「水無川」初披露

北公民館で水無川のせせらぎを聴く 9/18



映像が浮かぶような演奏を聴いたことがありますか?

今回がそれ! 会場はバイヤンが鳴り響き公民館らしかめ異国情緒に包まれ、脇を固めた「よさこいゆきみ」「おから塚喜劇団」の演技で意識は秦野へ引き戻され、鳴子に元気をもらい、秦野民話を笑いと共に知ることができた楽しいひと時。新曲の『水無川』では川沿いを歩いているかのような気分、客席は余韻に浸たり、曲終了後の拍手までの間は魅了度合いを表していたかのよう! 鳴り止まない拍手のアンコールは飛び入りのタップダンスと共演! 控えめな日本人とメリズムで心を踊らせました♪  
**(本多美津代さん)**

猪俣昌也さんの  
タップと共演

舞い踊るゆきみチーム

へんな劇団『水のない川』披露



## 喜劇「水のない川」を観、水無川の川底を歩き "Mizunashi River" 新曲誕生

**スタスさん着想語る** I have just finished a new piece that I wrote for solo accordion, inspired by the Mizunashi River, which is located in Hadano, Japan. The idea came to me instantly when we were walking along the bottom of this river with Megumi Hada. The concept of walking along the riverbed intrigued me because, without a diving suit, you can descend to the very bottom of the river. The riverbed is like the heart of the river, a mystery for a person. Walking along the dry bottom was like diving into the fairy tale and fantasy of this existing river called the "Mizunashi River."

秦野市にある水無川にインスピレーションを得て、ソロ・アコーディオンのために作曲した新しい曲をちょうど完成させました。このアイデアは、秦恵さんとこの川底を歩いていた時に、すぐに思いつきました。川底を歩くという概念に惹かれたのは、潜水服なしで川底まで降りられるからです。川底は川の心臓部のようなものであり、人にとつては神秘的な場所です。乾いた川底を歩くことは、まるで「水無川」という現実の川に降り、おとぎ話の幻想的な世界に飛び込むような感覚でした。  
**(英文要訳 河口博子さん)**

# パサデナ姉妹都市協会 ゲレーロ会長 退任 プルデンシオ新会長 誕生 Cultural Liaison 新設

より幅広い活動を拓く「文化交流担当」部署 1月より始動  
新役員に秦さん、クリスチャンさん、ミシェルさん、ローレンさん加わる

Dear Hadano citizens, I, Prudencio Reyna, would like to take this opportunity to introduce myself as the president of the Pasadena Sister City Association. Having been a member for over 15 years, I have cherished the many friendships I have formed with the citizens of Hadano. It is with great pleasure that I now accept the role of president. I look forward to furthering our friendship and learning more about the culture and traditions of this beautiful city. Thank you for your ongoing support.



プルデンシオ・レイナ新会長

秦野市民の皆様、この度、パサデナ姉妹都市協会の会長に就任いたしましたプルデンシオ・レイナです。ご挨拶申し上げます。15年以上にわたり会員として活動し、秦野市民の皆様と築いてきた数々の友情を大切にしてきました。この度、会長に就任できることを大変嬉しく思います。私たちの友情をさらに深め、この美しい街の文化や伝統についてより深く学んでいくことを楽しみにしております。皆様のご支援に感謝申し上げます。



新役員 秦恵さん

パサデナ姉妹都市協会では昨年秦野市を訪問した派遣団の4人が今年1月より新役員に就任しました。従来の役員4人の役職に加えて、今年からは新しい役職 Cultural Liaison(文化交流担当)を加えることになり、私とその役職に就きました。早速、1月より、毎月のミーティングで、日本文化、季節の行事等を紹介するプレゼンテーションを行い、またミニ日本語レッスンも始めました。大変好評を得ています。様々なフェスティバルに秦野パサデナ友好協会のブースを設け、私たちの活動紹介やメンバー募集を行うなど、新役員で活発に新たな活動を始めています。秦野市とパサデナ市、日本とアメリカを結ぶお手伝いのできたらと思っています。

## 街角レポート

2020年のパサデナ訪問の時に友だちになったクリスチャンさんとの交流も5年が経過しました。昨年6月には市民訪問団として来日し、秦野市で再会を喜び合いました。今回は、7月にテキサス州で起こった豪雨災害について連絡をしたところ、返信が届きましたので、その報告です。

会員の一人ひとりが、自分のできる範囲で交流の絆を継続していくことがとても大切だなと感じています。

昨年パサデナ市民・青少年演奏団の訪問で築かれた交流の芽が大きく育つことを願ってやみません。(大草淳一)



仲間となごむクリスチャンさん(中央)

## クリスチャンさんからの返信

Hello Junichi, Thank you for your kind words. My family and I are doing well, and we're excited to prepare for the Hadano delegation's visit next year. Work has been going smoothly as well. The flooding in San Antonio and Austin, about three hours from us, has been heartbreaking for Texas. Tragically, around 120 lives have been lost so far, but our communities are resilient, working tirelessly to support survivors and begin recovery efforts.

Thank you again for your thoughtfulness and I look forward to visiting Hadano again!

温かいお言葉をありがとうございます。私の家族は皆元気で、来年の秦野市からの派遣団の訪問に向けて準備を進めているところです。仕事も順調に進んでいます。サンアントニオとオースティンでの洪水はテキサスにとって心が痛む出来事です。現在までに約120人の命が失われていますが、生存者の支援と復興に取り組んでいます。秦野市にまたお伺いできるのを楽しみにしています！



Hey listen!

Since 2011

# 中学生英語スピーチコンテスト

9月14日(日)、第14回中学生英語スピーチコンテストが秦野市保健福祉センター多目的ホールで開催されました。発表者は14名。流ちょうに英語を話す生徒、自分の想いを英語に託し、必死に訴える生徒たちに感激して聞き入ってしまいました。

残念なのは聴衆の少なさです。私たち協会員も友だちを誘って行きましょう。



## (八田悠莉さん英文要訳)

日本の英語力は一部で向上しているが、世界的にはまだ低い。その原因は英語を使う機会が少ないこと。英語はスポーツのように、実際に使って練習することが大切。学校のタブレットや英会話アプリ、英語カフェや“英語コート”のような場を増やせば、英語を話す心理的ハードルも下がり、英語力向上に繋がります。失敗を恐れず英語を楽しもう！

## (来場者の声)

緊張感が伝わりつつも、各発表者のあつという間の3分間でした。一聴衆として、「なるほど!」「同感!」と頷いている自分がありました。

来年も是非!! (森田優理さん)

## 上位入賞者の皆様

- 優勝 八田悠莉さん
- 第2位 ライト麗雄さん
- 第3位&オーディエンス賞 伊藤茉莉さん



八田悠莉さん

## 八田悠莉さんのスピーチ内容

Have you ever heard that English is like a sport?

The other day, I read an article online. It said that Japanese students are getting better at English. In 2024, the percentage of Japanese junior high and high school students who passed the Eiken test increased compared to 2023. However, according to a global ranking, Japan ranked 92nd out of 116 non-English-speaking countries. That's the lowest rank ever for Japan. Why is Japan still seen as weak in English worldwide, even though more students are passing tests?

When I looked into it, I found three main reasons. First, English and Japanese are very different. Second, there are few chances to actually use English. Third, many people have a psychological barrier to speaking it. Among these, I focused on the second reason—few chances.

At the beginning, I mentioned that English is like a sport. So, imagine when you play a sport. What's the first thing you do? Do you read the rulebook and memorize everything? Probably not. Most people just try playing and learn as they go. It's the same with English. Even if you memorize grammar in detail, you won't be able to speak English if you don't have an English-speaking environment. At present, even though we learn a lot of English in school, we don't have enough chances to use it. So, how can we change that?

For example, in school, we could use the tablets we already use in class to try conversations through apps or online English-speaking lessons. Outside school, I think it would be nice to have English cafés where anyone can go anytime and talk in English. Also, just like we have basketball courts in parks that anyone can use, what if we had "English courts"? Places where anyone can gather and chat in English freely. These places would make it easier and more fun to use English. As a result, it helps lower a psychological barrier to speaking English—the third reason I mentioned earlier—and helps raise the global standing of English proficiency in Japan.

English needs both a good environment to use it and the courage to try. So, let's not be afraid. Let's not be shy. Let's speak English freely. Because English is like a sport. Let's enjoy and "PLAY" English!



セレモニーホール  
富士見斎場

## 富士見斎場株式会社

〒257-0031

秦野市曾屋 1011 番地 秦野斎場隣り

☎0463-84-0222 FAX: 0463-84-0300

http://www.富士見斎場.COM

代表取締役会長 石井時明

代表取締役社長 石井隆浩

確かな技術で

「ものづくり」



代表取締役社長 栗原悦子

〒257-0015 秦野市平沢 248 番地

☎ 0463-81-4321 FAX 0463-82-0345

最高の技術力で明日を創る

株式会社藤野製作所



- ・機械工作
- ・表面処理

代表取締役会長 藤野歳記

代表取締役社長 黒石昇

〒257-0031 秦野市曾屋 338 番地

☎0463-81-1313 FAX0463-82-7074

# 会員同士の交流を進めよう



「できるだけ参加したいけど、どうしたら?」「普段、参加していないから、参加しにくいわ!」など、参加したい気持ちはあるもののこの足を踏んでいる人はいませんか?

9月発行の『Howdy』には下段のように年間スケジュールを掲載し、会員交流の機会をお知らせしております。どうぞ、各種の活動に参加し、60余年にわたるパサデナ市との交流の一環を覗き、非日常に浸ってみてはいかがでしょうか?

主な3つの事業を紹介します。関心をお持ちの方は表題の事務局(秦野市役所文化振興課内)にお問い合わせください。会員以外の方々の参加も大歓迎です。皆様の参加をお待ちしています。

## 中学生オンライン交流

～トンプソン中学生と会話～

日時:2025年10月17日(金)  
20:00～23:00

場所:教育庁舎3階

対象:渋沢中学校生徒他希望する市内中学生

☆心援団大歓迎!

参加希望者は事務局に連絡を

## 「市民の日」参加

日時:2025年11月3日(月・祝)  
9:30～完売まで

場所:カルチャーパーク

販売品:かき氷、大根他

☆格安チケットに大行列♥

かき氷の注文は英語で♪

皆で声を張りあげ

完売まで楽しみ

ます♪



## 秦野市国際交流協会 フェスティバル参加



日時:2026年2月15日(日)  
予定

場所:本町公民館

☆各国の人たちと会話を楽しみ、ブースでは当協会活動を紹介。一緒に伝えませんか?

月	事業及び役員会
4	・定期総会(11日) ・スタスさん演奏会(16日、17日、19日)
7	・第1回役員会(8日)
9	・パサデナ月間事業 デジタルサイネージ(1日～30日) ・解説板清掃(14日) ・中学生英語スピーチコンテスト(14日) ・スタスさん演奏会(18日) ・情報交換会(19日) ・第2回役員会(24日) ・情報誌『Howdy』第31号発行(29日)

## 2025年度(令和7年度)進行スケジュール

月	事業及び役員会
10	・中学生オンライン交流会(17日)
11	・第46回秦野市市民の日参加(3日) ・第3回役員会(20日)
12	・姉妹校作品交流の準備(予定)
1	・秦野市青少年訪問団パサデナ市派遣事業(11日～17日)
2	・国際交流フェスティバル参加(15日) ・第4回役員会(27日)
3	・情報誌『Howdy』第32号発行(31日)

**お詫びと訂正** Howdy30号2ページの誤字をお詫びして訂正いたします。(誤)終結→(正)集結

## 編集後記

4月の総会では「3つの交流を通して」という方向性をもち、より活発な展開をしていこうと会長挨拶にありました。今年度は理事3名が新たに加わり、パサデナ姉妹都市協会では新会長の下「文化交流担当」部署が新設され、新役員4名が加わりました。長年にわたる歩みを止めることなく未来に向かい新しい一歩を踏み出しましょう。今年度の編集は大津道雄、飯塚雄三、蔵本ふじ子、青木悦子、田中節子、阿部和子の6名で担当します。皆様のご意見を紙面に反映できるよう努めてまいります。(田中節子)